

名古屋能楽堂



Nagoya Noh Theater

正月特別公演



能

おきな

「翁」

翁
千歳
三番叟

(観世流)

山中 雅志
久田勘吉郎
井上 蒼大

狂言

まくら もの ぐるい

「枕物狂」

シテ

(和泉流)

佐藤 友彦

能

かきつばた

「杜若」

恋之舞

シテ

(観世流)

久田三津子

令和9年 1月3日(日)

13:00開演 (12:00開場)

※能「翁」開演後30分程は入退場できませんのでご注意ください。

指定席 5,200円

自由席(一般) 4,200円

自由席(学生) 2,000円

10月15日(木)より 前売券発売

豊臣能楽 ～豊臣家の能と狂言～

秀吉プロデュースの禁中能、大胆かつ華やかに開催される!

能にはまった秀吉は、禁中(天皇のお住まい)にて能を催すことを計画、稽古を始めてわずか九か月後に実現させます。文禄二年禁中能として知られるそれは、豊臣政権下の武将が多数出演し、本業の能楽師たちも参加するという前例のないイベントで、秀吉はじめ、徳川家康・秀忠親子、織田常真(信雄)・秀信(幼名三法師)、前田利家、宇喜多秀家、毛利輝元、細川幽斎など錚々たる顔ぶれが三日にわたり能を舞い、狂言を演じ、囃子を担当したのです。秀吉による禁中能はこのあと、文禄三年、慶長元年にも行われています。

正月特別公演では、文禄二年の番組にちなんだ演目をそろえました。

《翁》は、禁中能では初日・二日目を秀吉の師である暮松新九郎が、三日目は弟の秀長が生前後援した金春安照が勤めています。《杜若》は秀吉本人が三日目に演じました。この日は女房たちに見せる催しであったと『駒井日記』などの記録にあり、秀吉の思いがうかがえます。当公演では「恋之舞」の小書付で上演いたします。狂言は初日に前田玄以らによって演じられた《枕物狂》を。これは三老曲の一つとして重く扱われる特別な作品です。

上:能「翁」 下:能「杜若」(撮影:工房円)



主催

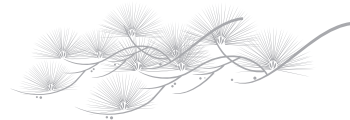


名古屋市文化振興事業団 [名古屋能楽堂]

公益社団法人 能楽協会 名古屋支部



※能「翁」開演後30分程は入退場できませんのでご注意ください。

能
翁（観世流）翁 千歳
三番叟
面箱持山中 雅志
久田勘吉郎
井上 蒼大
奥津健一郎

笛

脇鼓

小鼓頭取

脇鼓

大鼓

後見

狂言後見

地謡

後見

狂言後見

地謡

後見

狂言後見

地謡

後見

狂言後見

地謡

後見

狂言後見

地謡

後見

狂言後見

地謡

後見

狂言後見

地謡

後見

狂言後見

地謡

後見

狂言後見

地謡

後見

狂言後見

地謡

後見

狂言後見

地謡

狂言

枕物狂（和泉流）

休憩二十分

シテ 祖父

アド 太郎

アド 次郎

アド 乙

シテ 祖父

アド 太郎

アド 次郎

アド 乙

シテ 祖父

アド 太郎

アド 次郎

アド 乙

シテ 祖父

アド 太郎

アド 次郎

アド 乙

佐藤 友彦

松田 高義

藤波 徹

伊藤 泰

野村又三郎

野村小三郎

今枝 郁雄

井上松次郎

鹿島 俊裕

佐藤 融

吉沢 旭

下川 宜長

生一 知哉

松山 幸親

伊藤 裕貴

今枝 郁雄

能

杜若（観世流）

恋之舞

シテ 杜若の精

ワキ 旅僧

小鼓

大鼓

太鼓

竹市 学

後藤嘉津幸

河村眞之介

加藤 洋輝

久田勘吉郎

生一 知哉

久田勘吉郎

生一 知哉

久田勘吉郎

生一 知哉

久田勘吉郎

生一 知哉

久田勘吉郎

生一 知哉

久田勘吉郎

生一 知哉

久田勘吉郎

生一 知哉

久田勘吉郎

生一 知哉

久田勘吉郎

生一 知哉

久田勘吉郎

生一 知哉

久田勘吉郎

生一 知哉

久田勘吉郎

生一 知哉

久田勘吉郎

生一 知哉

久田勘吉郎

生一 知哉

久田勘吉郎

【イヤホン・ガイド】

◆能「翁」

日本語／米田 真理

英語／藤江 さおり

英語／藤江 さおり

日本語／藤江 さおり

日本語／藤江 さおり

日本語／藤江 さおり

日本語／藤江 さおり

日本語／藤江 さおり

日本語／藤江 さおり

日本語／藤江 さおり

日本語／藤江 さおり

日本語／藤江 さおり

日本語／藤江 さおり

日本語／藤江 さおり

日本語／藤江 さおり

◆能「杜若」（かきつばた）

東国行脚の旅僧が三河の国に着きますと、沢辺の杜若が今を盛りと咲いています。僧が花を眺めていますと、一人の女が現れ、こ

は八橋という杜若の名所だと伝えます。そして伊勢物語にも八橋

の由来が書いてあり、かきつばたの五文字を句のうにいた業平の

歌を紹介し、唐ころも、着つつ馴れにし、妻しあれば、通々

来ぬる、旅をしを思ふ。女は業平の跡を語り、見苦しいかと、僧を

自分の庵に案内し、夜の宿を勧めます。

やがて女は初冠に唐衣の姿で現れ、この衣が歌に詠まれた唐衣

で高子（二条の后）の御衣で、初冠は業平の形見の冠だと云い

ます。僧が不審に思い尋ねると、自分は杜若の精であると明か

し、また業平は極楽の歌舞の菩薩の化身なので、詠む和歌の言の葉ま

でもがみな法身説法の妙文で、草木まで露の恵みで成仏するの

ですと語り、伊勢物語や業平について語り、舞を舞い、やがて消え

ていきます。

京の銘菓「八ッ橋」の名前の由来には、二つあるそう。一つ目は

筆曲の祖、八橋候校にちなみ、筆の形に似せたもの、三河の国八橋に

ちなみ、橋の形に似せたものという由来だそうです。（久田三津子

◆能「翁」（おきな）

新春。切火で清められた舞台上、潔斎をすませた演者が、面箱

翁千歳、三番叟と続いて全員が登場する。

「切火」とは、この場合、幕際から火打石で火を飛ばすこと。後

見の役割。清新の気が漲る。

翁は狩衣、指貫、面箱、千歳、三番叟は侍烏帽子に直垂、囃子、地

謡などは侍烏帽子に素襦を着る。

「翁」の舞は三部から成り立っていて、最初の千歳は「鳴るは滝

の水」と謡い出し、若々しく調子とした舞。次に翁の面を舞台上

でつけたシテは祈禱的な意味合いを持つ重厚な舞を舞う。その中

で、角脇座前・中央で三回ずつ拍子足を踏む、これを天地人の拍

子と称する。翁と千歳の退場後、三番叟の賑やかな舞となる。は

じめの部分を「揉之段」、黒式尉の面をつけ、鈴を持った後半部

の舞を「鈴之段」と称する。

天下泰平、国土安穩を祈る儀式能。

新年の翁。それはさわやかな日本の新春。

百歳を超える長寿の祖父は、最近恋に悩んで夢うつつ日々を

送っているとの事。この噂を聞きつけた二人の孫が、祖父のも

とを訪ねて詳しく話を聞き出します。これが事実ならば是非とも

成就させてあげたいと考え、その相手を突き止めて、

本曲は狂言「比良山」とともに「三老曲」と呼ばれ、能楽修

業に於ける根幹骨子・謡舞・語りんの表現技法を、それまでの豊富

な舞台経験を土台布石にして、歳を経て初めて演じることが許され

る芸の集大成とした、即ち老練にして更なる心・技・体の精神を問う

すべてが注ぎ込まれた、狂言の最高秘曲に位置付けられています。

謡の一部には能「松風」（若い海女姉妹の悲恋物語）からの引用も

あるなど、卓越した技能と品位高き技芸、それを支える助演者一同

を以て、これら老人の憂いを能楽ならではの様式美を用いながら、

かつ微笑ましくも演出しています。

祖父は様子の小さな枕が結びつけられた世の小枝を手にして登

場します。枕は恋慕を、世は《物狂い》を象徴して、乱れた心

と高揚した精神状態を視覚的に見せています。この世を「狂い世

と呼び、能の「隅田川」や「班女」、狂言でも「法師ケ母」などで使用さ

れています。（井上松次郎）

正月特別公演事前学習講座

12月12日(土) 14:00~16:00

受講チケット500円

◆能「翁」・「杜若」のあらすじ、見どころを解説します。詳細は事前学習講座チラシをご覧ください。

※事前学習講座のチケットは、名古屋市文化振興事業団の管理する文化施設窓口にて取り扱いをしております。

チケット料金(税込み) *前売券発売日 令和8年10月15日(木)

	指 定 Reserved	自 由 Non reserved	
		一 般 Adult	大学生(25歳)以下 Student 25 and under
前 売 Advance sale	5,200円	4,200円	2,000円

*学生券は25歳以下を対象とします。*未就学児のご入場はお断りいたします。

*チケットは1回につき4枚までの販売とさせていただきます。

*事業団友の会会員・障がい者手帳等をお持ちの方(付添者1名含む)は400円引きです。(学生券の割引はありません。)

(名古屋能楽堂・事業団チケットガイド・事業団施設窓口のみ、各割引の併用はできません。)

前売券取扱所 Ticket Office

名古屋能楽堂／TEL.052-231-0088

*前売券発売日は、お電話がつながりにくいことがあります。

名古屋文化振興事業団チケットガイド／TEL.052-249-9387

(平日9:00~17:00/チケット郵送可)

名古屋文化振興事業団が管理する文化施設窓口<土日祝日も営業>でもお求めいただけます。

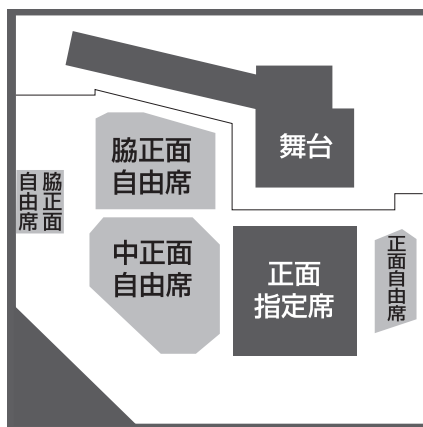
(工事休館などがありますので、ホームページでご確認ください。)

チケットぴあ／Pコード544-936

*外国籍が証明できるパスポート等を持参された方には前売・当日とも割引します。(名古屋能楽堂取扱いのみ)

Discount is available by showing passport or other proof of foreign nationality. (at Nagoya Noh Theater only)

お問い合わせ／名古屋能楽堂 TEL 052-231-0088 FAX 052-231-8756



〒460-0001 名古屋市中区三の丸一丁目1番1号

公演についての最新の情報は
名古屋能楽堂ホームページを
ご覧ください。

https://www.bunka758.or.jp/facility/nougakudo/